

# 山月工房

## 豊富な色彩が特徴の伝統工芸品 「和泉蜻蛉玉」を製造

- 海外発注可
- オンライン技術
- メイドインジャパン
- 試作可  
小ロット
- 量産対応



大阪の伝統工芸品「和泉蜻蛉玉」

主な事業内容	主な取引先(納入先)	主な製品
大阪の伝統工芸品 「和泉蜻蛉玉」の製造・販売	各百貨店・小売店、 社寺文化財の修復会社、ホテル業界など	大阪の伝統工芸品 「和泉蜻蛉玉」

**業務内容**  
伝統のガラス工芸品を作る独自の工房

山月工房は大阪の伝統工芸品である「和泉蜻蛉玉」を製造・販売する。和泉蜻蛉玉とは、大阪の泉州地域で古くから独特の技法で作られてきたガラス工芸品。主にネックレスやブレスレット、イヤリング、ピアスなどの装飾品に加工され、販売されている。同社はこの伝統工芸品を作る工房だ。

創業は昭和20年。松田有利子現代代表の父親である小溝時春氏が、叔父からガラス玉の製造技術を習得して工房を立ち上げた。泉州地域独特の技法で作られるガラス玉を和泉蜻蛉玉と名付けたのは時春氏である。その時春氏が平成16年に逝去したため、代表職を引き継いだのが有利子氏だ。有利子代表も幼少時から父親に技法を習っており、大阪府伝統工芸士の称号を持っている。

**強み**  
1000年前の材料を復元するプロジェクト

「和泉蜻蛉玉」は大きさや色彩が同じガラス玉を手作業で連続して複製する技法で作られる。また、土台となるガラス玉に色とりどりの小さなカラー

ガラスを付けて溶かすなど、独特の製法で様々な模様が表現できる。金型を使い丸形状以外の形をしたガラス玉を作ることも可能だ。

山月工房は平成22年、国宝の平等院鳳凰堂・阿弥陀如来坐像の装身具である璽路を復元した。その際に、採取した1000年前のガラス片の成分分析を東京理科大学教授のグループが実施。同工房はそこで得られたデータをもとに、当時と均しい成分・色彩の材料を開発し、復元する「千の時」復刻プロジェクトに取り組んでいる。

**実績**  
文化財修復から学生とのコラボまで

大光明寺（東京都）の青龍弁財天御前立ち像の宝冠装飾玉や、総社大神宮（福井県）の神輿鬼板ガラス目など、社寺の文化財修復に関する取り組みで豊富な実績を有する。また、地元との結びつきも強い。府立堺工科高校定時制の生徒たちが堺線香職人の指導のもと開発したお香ともコラボレーション。同工房は「百舌鳥・古市古墳群」の前方後円墳をかたどったお香立てを手がけ、「時越香（ときおいのかおり）」としてお香とセットで販売した。このように地域企業としても根付いている。

### 社長あいさつ



代表  
松田 有利子さん

山月工房は人とのつながり・ご縁をモットーに、材料から製造者に至るまで、表示を明確にいたしております。美しいガラスのように純粋な輝きを放つ企業をめざし、伝統を後世につなげていきたいと思っております。

### 主な保有設備

- ガラス製造用電気溶解炉 サヌック製 1台
- 小型電気炉 FT-101 フルテック製 1台
- 平面グラインダー ロベックスインターナショナル製 1台
- ガラス目用具 南海モルディ製 1台

大阪 05

住所 / 〒594-0065  
和泉市 観音寺町862-5  
TEL / 072-224-2670  
FAX / 072-224-2671  
創業 / 昭和20年4月  
設立 / -  
資本金 / -  
従業員 / 2名



同型同色を連続で製作



(上)宝冠装飾玉(画像提供:早川宏一氏)/(下)神輿鬼板ガラス目(監修:久保智康氏,国庫事業)



<https://izumi-tombodama.com/>